

2023年6月5日

現場主導の UiPath 活用で迅速・柔軟に業務を自動化 「市民開発者向けハンズオン・トレーニング」を提供開始

～ 現場部門の IT スキル向上で IT 部門の人材不足を解消し DX 加速 ～

BIPROGY は、現場部門での RPA 活用の拡大を支援する「市民開発者^{※1}向けハンズオン・トレーニング」を本日から提供開始します。

本トレーニングでは、現場部門に RPA 活用を担う人材を育成し、迅速かつ柔軟な業務自動化推進を実現します。また、業務でのデジタル活用の意識を高め、現場部門の IT リテラシーを向上させ、企業文化の変革や DX を推進します。

BIPROGY は、本トレーニングを含む「業務デジタル化支援サービス for RPA」の、提供を通じて、RPA 活用による全社規模の業務自動化を推進し、企業の DX の取り組みを支援します。

※1:IT 部門に頼ることなく現場部門が RPA やローコードツールなどで行うシステム開発

【背景】

多くの企業がビジネス環境や技術の変化に対して、迅速な対応および内製化を推進するため RPA を活用した業務省力化・自動化に取り組んでいます。しかし、IT 部門の人材不足のため現場からの要求に迅速に対応できない、RPA で自動化すべき現場業務の抽出に時間がかかるなど、RPA を十分に活用しきれずに、内製化が進んでいないことが課題となっています。これらの課題を解決するため、現場部門で RPA 開発を推進する市民開発が注目されています。

【市民開発者向けハンズオン・トレーニングとは】

BIPROGY が提供する「市民開発者向けハンズオン・トレーニング」では、現場部門で RPA を用いたシステム開発を担う人材の育成を支援します。現場部門自ら実施する業務自動化の促進は、現場の IT スキルを向上させ、企業文化の変革や DX を推進にもつながります。

本トレーニングは、現場部門の業務担当者を対象に、リアル開催の集合研修または、オンライン形式で実施します。RPA による業務自動化を実際に体験することで、具体的な自動化の手順と実装方法を習得できます。また、本トレーニングは UiPath を利用した本番システムの導入・開発・保守経験のある UiPath 社の認定資格を持つ BIPROGY の技術者が講師を務めます。開発ツールは、プログラミング経験のない現場部門でも扱える、UiPath StudioX を利用します。

【今後の取り組み】

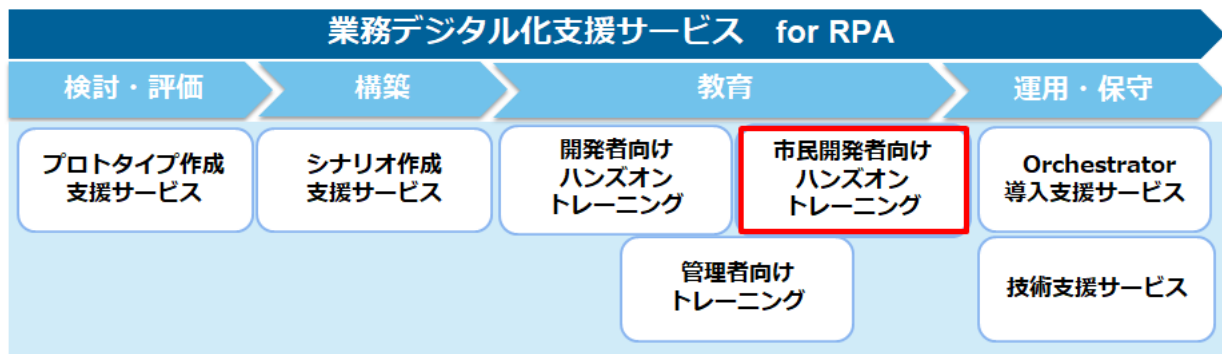
BIPROGY は、当社で RPA/UiPath の利活用で生産性を向上し、年間 17,000 時間以上のコスト削減を実現しました。今後も、当社での経験・知見や多くの導入実績を生かし、最適な RPA 環境の提案を通じ、企業の働き方改革と DX を支援します。

以上

【市民開発をする IT 部門に対する支援】

市民開発を推進する際、IT 部門にとっては、野良ロボット^{※2} 対策やセキュリティリスクの増大、現場開発者からの問い合わせの増加などが課題となります。BIPROGY は、IT 部門向けに提供している「管理者向けトレーニング」や「技術支援サービス」を通じて、安心して市民開発を推進できるよう、現場部門だけでなく IT 部門も支援します。

※2 作成者の異動などで管理者不在になった RPA ロボット



【エンドースメント】

UiPath 株式会社 執行役員 最高パートナー責任者
渡部 洋史氏

このたびの BIPROGY 様の「市民開発者向けハンズオン・トレーニング」の提供開始を心より歓迎いたします。市民開発の機運が高まるなか、それをサポートする IT 部門への教育や負荷軽減も含めた本サービス提供は、多くのお客様のニーズを満たすものであると考えています。今後とも UiPath は、BIPROGY 様をはじめとするパートナーとの協業を通して、日本のお客様の DX に貢献してまいります。

■ 関連リンク

市民開発者向けハンズオン・トレーニング

https://www.biprogy.com/solution/service/management_support.html#citizen

業務デジタル化支援サービス for RPA

https://www.biprogy.com/solution/service/management_support.html

RPA ソリューション

<https://www.biprogy.com/solution/theme/rpa.html>

※UiPath は UiPath 社の米国およびその他の国における商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/